

鏡川流域パートナーシップだより No.143 R6.5.30



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

高知大学地域協働学部1回生の自主的な関わり！

高知大学地域協働学部の1回生6名が、鏡川流域関係人口創出の取組に継続的に関わってくれています！大学の授業の枠を超えて、高知市職員と意見交換をしながら、自身のやってみたいことや関心ごとに対する知見を深めて自主的に活動しています。



高知市と6名の学生さんとの関わりは、5月8日に高知大学地域協働学部1回生を対象にした授業「課題探求セミナー」に高知市職員が講師として参加し、鏡川流域の魅力やまちのコイン「ぼっちり」の取組を紹介したことから始まります。

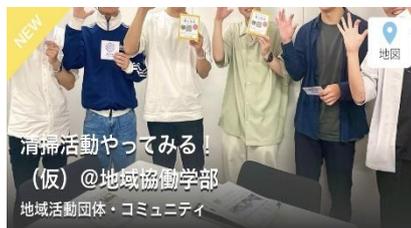


その翌週、5月15日には、同授業の鏡川河畔を歩く課外学習「鏡川ウォーク」にて、「ぼっちり」のスタンプラリー機能を活用しながら下流の鏡川沿いを歩き、地域の魅力や課題を学生の皆さんに考えてもらいました。



授業終了後も、「ぼっちり」を自主的に活用する学生さんの姿がありました。

「ぼっちり」に登録している高校生団体「高知清掃隊」の清掃活動への参加を希望したり、「鏡川を知ってもらうためのお手伝いをしたい」というコメントを高知市に届けてくれたりと、高知市の環境保全に関心を寄せてくれました！



5月28日には、6名の学生さんが高知市役所を訪れ、高知市職員と意見交換を行いました！学生の皆さんは、もともと清掃活動やイベント運営に興味があったようで、「ぼっちり」を活用しながら、地域をより良くするために活動していきたいとのこと！



「派手でなくてもいいので長く続くようお祈りしてます！」
「最近の若者にも骨太な精神が芽生えてますね！」



「柳原橋の辺りを提案します。ビニールゴミやたばこの吸い殻などのゴミを見かけます」

そんな学生さんの思いをもとに、その場で「ぼっちり」のスポット登録と体験チケット作成を行いました！

「やってみたい」という思いをすぐに形にできるのが「ぼっちり」の魅力です！今後も学生の皆さんと一緒にアイデアを可視化していきます！

さっそくユーザーからコメントが届いています！ぜひ体験チケットを利用して学生の皆さんを応援しましょう！



「スポット運営のアプリでいろんな人の意見を見ながら、高知のことを考えるのがとても楽しいです」と、「ぼっちり」を活用した関係人口の取組に意欲的に取り組む学生の皆さんの熱意に、高知市職員も刺激を受けました！今後も意見交換を継続し、連携を深めていきます！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone Android